



複式教育公開授業

平成二五年度、福井小に三、四年生の複式学級が誕生して以来、本校の複式学級も四年目となりました。昨年度に引き続き、複式教育推進指定事業を受け、複式教育についての授業の実践の積み重ねと研修に努めています。

その成果を一月三一日に行われた授業公開で、たくさんの方々に見て頂きました。町内、町外から、そして小学校から高校までの四〇名近い先生方において頂き、五、六年生の国語の学年別指導（わたり）を公開しました。

学年別指導の中でも、本校ではダイアモンド型学習を中核に据えた研究を進めています。ダイアモンド型学習とは、教師が直接指導しなくても、学習リーダーを中心に子ども達も自分達の手で学び合いを進めるいわゆる同時間接指導といふ学習形態です。昨年度は物語を中心に、今年度は説明文を中心に校内での研究授業に取り組む、学習課題の設定や学習計画の立て方を大事にした授業を試行錯誤してきて

ました。



公開授業では、五年生は想像力のスイッチを入れよう、六年生は自然に学ぶ暮らしの教材文を活用し、筆者の伝えたいとは何か

に迫る学習を展開しました。三年生の時から複式学級の経験を積んできた五、六年生ですので、学習リーダーの進行に沿って、自分の考えを短冊にまとめ、それを類型化グループ分けしながら、筆者の伝えたいとをまとめることに迫っていきま

した。ご参加くださった先生方からは、自分達で授業を進めようとする子ども達の姿を認めたり、学習リーダーを支えながら授業をつくりだそうとする子ども達の雰囲気を感じたりする言葉をたくさん頂きました。

本校に限らず、隠岐郡内ではどの学校も児童数が減少し、単式から複式学級の編制に移行する学校が増えてきています。複式学級への関心が高まっている中で、本校の授業公開は、提案性を含んだ意義ある取り組みであると感じています。福井小には現在、複式学級は高

めざす子ども像
豊かな心を持った子
進んで学ぶ子
最後までやりぬく子

〒684-0404
海士町福井 394 番地 2
TEL08514-2-0750
FAX08514-2-0790
Mail
fukui0750@gmail.com

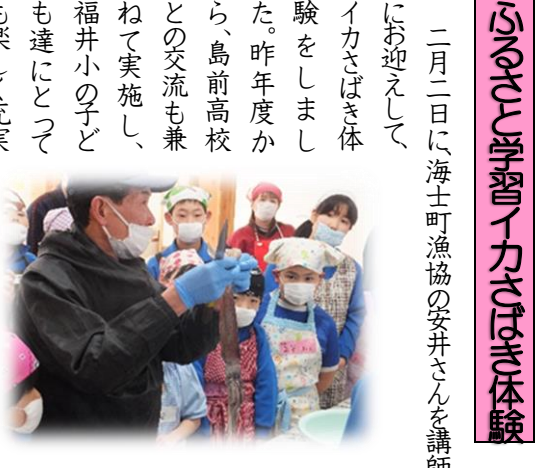
子ども議会

学年の一年級しかありませんが、単式学級の低、中学年の時期から学習リーダーをたてた授業に取り組み、子ども達の手でつくり出す授業づくりを心がけています。今後も新しいことにチャレンジしていく積極性をもちながら、日々の授業実践に努めていきたいと思います。
文責 山下則

六年生は総合的な学習の総まとめとして第一三回子ども議会に臨みました。この学習では、海士町の豊かな資源にとっつきかる中で、海士の未来のための課題を見つけ、調べ、提案すること、たくさんの人と接することによってコミュニケーションの力をつけること等をねらいとしています。

子ども議会に向けて、歩くんジャーやひまわり交流、昨年度までの学習などもテーマ設定の参考にしながら、海士町の課題点について考えてきました。二学期後半からは役場の各課の課長さん方にお話を聞きに行く機会をいただき、テーマ決定をしました。更に興味のある分野については役場の担当の方や学校、地域、様々な施設の方、関係者にアンケートをしたり、インタビューをしたりしながら、探究活動を進め提案を練り上げていきました。時には海士小学校との合同学習や中間発表でお互いが刺激し合い、提案内容も精練されていき

ました。当日はたくさんの方、地域の方、教育関係者、保護者のみなさん、ここまで調査に関わってくださった方々が見守る中、子ども議会が始まりました。初め緊張した様子の子も達でしたが、提案に対して一つひとつ丁寧に答弁をしてくださる町長さん、課長さん方のお言葉を頂き、自信にあふれた顔で帰ってきました。このふるさと学習は中学、高校と引き続き行われます。さらなる深い探究活動を行い、ふるさと海士への愛着が増していくことを期待しています。
最後に、この子ども議会のためにご支援、ご協力頂いたすべての皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。
文責 吉井



ふるさと学習「イカさばき体験」

二月二日に海士町漁協の安井さんを講師にお迎えして、イカさばき体験をしました。昨年度から、島前高校との交流も兼ねて実施し、福井小の子ども達にとつても楽しく充実した体験となりました。講師や高校生からイカさばきのコツを教えてもらおうと、おつかひな手つきではありましたが、自分の手でイカをさばくことができると、とても嬉しそうなお顔をたくさん見られました。島前高校の生徒から、イカは島前のふるさとのお味です。イカさばき体験で楽しく交流できたことがうれしかったです。感想がありました。ふるさとのお宝を知り、海士の良さを感じてくれる機会になったのでは、と思います。
(文責 兵馬)

福井小一日入学

二月一日、四名のさくらさんが福井小学校に来てくれました。この日に向けて、一年生を中心に、準備をしてきました。一五年生でのお出迎えをはじめ全校での見送りまで、子ども達がさくらさんを喜ばせよう、喜ばせようとする姿がたくさん見られました。学校紹介では、読み聞かせをする様子、給食では、片付けを手伝ってあげる様子が見られ、一年生にとつても有意義な時間となりました。この行事を通して、一年生は二年生になるという進級への意欲が高まりました。また、陰で支えてくれた五年生も、最高学年として学校の顔となるという意識を感じました。校が咲く頃、ピカピカの一年生を心待ちしています。

文責 兵馬



第二回俳句教室

二月一日に村上助九郎さん、田口耕さん、笹鹿岳志さんを講師にお迎えし、第二回俳句教室を行いました。今まで俳句を作る活動を行っていましたが、今回は俳句を鑑賞することにチャレンジしました。各学級で、自分たちが作った俳句の中から「俳句大賞」を二点選びました。選ぶときにその俳句のよさを話し合いました。選んだ作品を各学級の代表児童が、みんなの前で発表しました。最後に講師の皆さんの選んだ「俳句大賞」の発表がありました。

ました。講師の皆さんのお話はとてもわかりやすく、作品のよさが伝わり、これから俳句を作るときに参考になるお話でした。

児童や講師の皆さんが選んだ第三回俳句大賞を紹介いたします。

- こはくであつたをうたおう大みそか 叶和
うめの花かれたらまたさくふしぎだな 侑馬
たよあげて空たかくとぶきもちいい 詩音
雪玉をつるつるにしたひびがぴか 太郎
山からねわちてくるよねそりすべり 琥太郎
雪だるままた生きていてかつこい 愛理
大空へゆらゆらとたよあがる 愛那
すず鳴らす家族そろつて初もうで 大海匠
白息出たらどこかに消えていく 朝登
たよあげてみんなのゆめもとんでいく 雪乃
書き初めを書いている中で雪がふる 航輝
新品の足あつた冬の日 莉子
書き初めて気合いい書いた初日の出 詩
書き初めて書けば書くほどうまくなる 勇介
祖母からのにもつの中にお年玉 溪渡
雪だるまにこつ笑つ友だちだ 和輝
水たまり氷が張つてさるぼろ 育海
山の上スキーですべる青い空 光輝
墨つけて気持ちよめて書き初める 朱葉
登校の元気なあいさつ白息 翔也

文責 永海



「俳句大賞」を選ぶ



講師さんのお話

海士中一日入学

二月一六日海士中学校で一日入学が行われました。期待に胸ふくらませた様子で中学校へ向かった六年生は、学校についてからも周



りをききながら ようしながら とても楽しそうにしています。中学生の授業見学では、中学校の難しい授業の難しさ、中学校の難しい授業の難しさ、中学校の難しい授業の難しさ

様子を見学させて頂きました。二年生の音楽では、琴の学習を見学しました。小学校では使わない、音楽会でもあまり見かけない楽器のため驚いた様子でした。一年生は「夢」を語っているところでした。中学生の発表の仕方や、考えに触れることができ、尊敬や憧れが増したようでした。三年生は、英語の学習でした。課題に対して英語で答えている姿を見て、小学校で行っている外国語活動との違いを感じたようでした。その後は、生徒会から学校の決まりや学校での過ごし方、部活動についての説明を受けました。

最後は、六年生が一番楽しみにしている部活動の体験です。テニス部では、ボールを実際に打たせてもらい、どの子も楽しそうにテニスを体験していました。バレー部では、中学生のお兄さんお姉さんにマンツーマンで指導してもらい、一つ一つの動きを丁寧に教えてもらっていました。この部活動体験を通してどの子も中学校での部活動に興味を持つことができ、何部に入ろうかと話題になることもあります。



今回の一日入学を通して、中学校進学への気持ちが一層高まり、四月が待ち遠しい様子が待ち遠しい様子が待ち遠しい様子が待ち遠しい様子

命の参観日

二月一八日に命の参観日を行いました。この取り組みは、命について考える学習を通して、自分自身や身の周りの人、命あるものを大切にしようとする心を育てようとするものです。

公開授業の内容は、

- 一年生 たいせつなからだ
二年生 誕生日つなごう
三年生 花を支える枝「のちのバトン」
四年生 思春期に起こる体の変化①
五六年生 アンターネット上での悪さげは取り返しのつかないことになる

でした。発達段階に応じて命について考えられるよう、各学年ともに工夫しました。保護者の皆さん、地域のみなさんにもご参加やご協力いただき、ありがとうございました。

かけがえのない命について考えることは、この授業だけでなく、あらゆる活動や学習、そして生活を通して、繰り返し機会を設けていくことが必要と考えます。ご家庭とともに命の大切さを子どもたちに伝え続けていきたいと思います。

文責 平井



校内なわとび大会

命の参観日の日には、なわとび大会も行われました。技跳びでは、決められた技に各組から選抜されたメンバーが挑戦し、デモンストラクションタイムでは、難易度の高い技を披露



露しました。そして、持久跳びでは、どれだけの長い時間跳べるかに挑戦しました。最後に、縦割り班対抗で、天なわ跳びを

競いました。短い期間でしたが、朝の時間や昼休憩に練習を重ねてきた成果を発揮し、上級生を中心に、チーム一丸となり、心を一つにして跳ぶことができました。努力の成果の表れたなわとび大会でした。 文責 中村

各種コンクール結果

- ゆかり俳句大賞
銅賞 四年 梅野航輝
冬の朝 おはようの声 ぶるぶる
高根県書初め展審査会
金賞 四年 荒銀 聖那 永原莉子
銀賞 四年 竹谷真結 中村 詩
五年 宇野璃音 竹谷瑠香
六年 磯谷奈津子 福井美空

3月の主な行事

- 一日(水) ノーメンティデー
五日(水) ノーメンティデー
六日(木) 式実行
七日(金) 卒業証書授与式
九日(日) しまね家庭の日
一〇日(月) 春分の日
二四日(金) 修了式・離任式
二七日(月) 春季休業(四月七日)